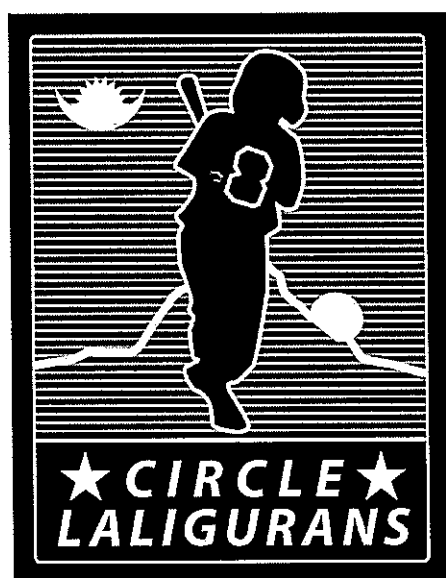


ネパールで野球「ラリグラスの会」

2005 年度 報告書

(2005 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日)



活動の経緯

プール学院大学の海外研修プログラムの一環として、1998年からネパール研修（日本語・日本文化紹介、交流活動）がはじまりました。1999年2月、この活動に参加したプール学院大学野球部員（赤松弘章）が路上でキャッチボールをしていると、現地の人々が集まってきました。その時、ネパールでは野球がほとんど知られていないことがわかりました。

松田浩志先生をはじめ、多くの方々のご協力があり、1999年9月、アマ・シンセカンダリースクール（以下アマ・シン）の生徒たち約20名と共に第1回ネパール・野球交流活動が始まりました。第1回から2001年2月の第4回までの主な活動の目的は、野球のルール説明、キャッチボールなど基本的な練習を中心に、野球の面白さを伝えることでした。

2001年4月から、花倉雄宇也（プール学院大学国際文化学部卒業）が現地派遣員という形で初めてネパールに滞在し、1年間活動を行いました。交流校は、これまで活動を行ってきたアマ・シンに加え、カリカセカンダリースクール（以下カリカ）、シリ・シッダセカンダリースクール（以下シリ・シッダ）の3校になりました。第5回の活動では初めて対抗試合が行われ、半年後の第6回の活動から、現地NGO主催のNEPAL BASEBALL CHAMPION CUPが行われるようになり、優勝校にはトロフィーが贈呈されました。この頃から、別々の学校であるという垣根を越えて、生徒間同士の交流も深まり、ネパール人同士で野球を教えあう光景が数多く見られるようになりました。

2002年5月から園田健弥（プール学院大学国際文化学部卒業）が現地派遣員としてネパールに滞在し、1年間活動を行いました。交流校はこれまでの3校に加え、バルバドラセカンダリースクール（以下バルバドラ）、バッタラガリセカンダリースクール（以下バッタラガリ）、アマ・シン2チーム目となるNEWアマ・シンチームの5校6チームになり、より多くの人に野球を知ってもらい、広めるために、アマ・シンのグラウンドだけではなく、バルバドラのグラウンドでも野球を行うようになりました。また、ポカラだけではなく、首都カトマンズの郊外にあるカトマンズ大学にも野球を紹介しました。そこで、ポカラベースボールクラブ（ポカラで野球をしている生徒たち）とカトマンズ大学の交流試合を行いました。

より野球人口を増やすことを目的として、生徒たちと共にネパール語の野球ルールブックを作成し、さらに、現地NGO等のご協力のもと、アマ・シンのグラウンドに一部分だけではなく、野球用のフェンスを設置しました。

以前にも増して生徒たちは、野球道具を大切に扱い、自ら進んで、野球道具（ベースなど）を作成し、グラウンドの石を拾い練習の準備をするなど、野球に対する情熱が目に見えるようになりました。しかし、2年間「指導者」を送ったことで、生徒たちに「指導者がいないと野球ができない」という気持ちが生まれてしまいました。そこで、園田の帰国後1

年間は、「彼らが自分たちの力で野球を続け、自立心を養ってほしい。」という願いから、日本からの指導者派遣を一時中断することになりました。

その間に、日本側で活動に参加し協力してきたメンバーのほとんどが大学を卒業してしまい、在学のみでサポートを継続することが難しくなっていました。日本のメンバーがこの先どのようにしてこの活動に関わり、バックアップをしていくかを検討した結果、ネパール研修参加学生と卒業生で組織する「ネパールで野球・ラリグラスの会」の発足にいたりしました。

そして、この会の発足と同時期の2004年4月、三浦昌広（花園大学文学部卒業）が現地派遣員としてネパールを訪れました。派遣員のいない1年の間に、アマ・シン、カリカ、シリ・シッダの生徒の中には生活のために働き出している生徒が多く、野球を続けられる環境にいる生徒はほとんどいませんでした。バッタラガリ、NEW アマ・シンは、教えてくれる人がいないという理由で野球を辞めていました。しかし、バルバドラでは野球が続けられていました。三浦はまず、バルバドラから活動をはじめ、その後、アマ・シン、カリカ、シリ・シッダ、バルバドラのゲームタイム（日本では体育の授業にあたります）の授業で野球を紹介しました。また、学校を卒業するまで少しでも長く野球が出来るように、10歳～13歳の生徒を中心に活動を行いました。しかし、野球をする生徒たちが徐々に増えていく一方で、野球道具（ボールなど）が盗まれるという問題が生じました。道具管理については、今後も学校側や生徒たちと話し合い、同じような問題が起こらないように改善していくことが継続課題です。

三浦が帰国する直前に行われた2004年9月の第10回の活動では、参加者全員の手で、初めてスコアボードを作成しました。

以上のような活動を続け、ネパールの野球は本当に少しずつではありますが「オリンピック」といった大きな夢に向かって、着実に前進しております。私たちとネパールで野球をしているプレーヤーたちの気持ちが同じ目線になることを第一に考え、ネパール・野球交流活動はこれからも歩み続けます。



※ 交流活動に参加したメンバーは、必ずネパール語やネパールについての勉強会、野球のルールの確認、怪我の応急処置の勉強、街頭募金などを事前研修として行いました。現地の人に受け入れて頂くためにも、極めて重要なことです。活動期間中も活動が円滑に進むよう毎日ミーティングを行い、帰国後には事後研修として報告書を作成し、ご協力者に向けて活動報告をさせていただいております。これらのことは当然、今後も続けていきます。言うまでもなく、この活動はご協力者の皆様のお陰で支えられています。今後ともネパール・野球交流活動の発展にご協力、ご支援、ご声援、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2005 年度 活動内容

日付	内容
4 月 23 日(土)	第 1 回定期 MTG 参加者 19 名
5 月 21 日(土)	第 2 回定期 MTG 参加者 15 名
5 月 27 日(水)～6 月 3 日(金)	松田浩志、佐原啓太 ポカラハウス調査の為ネパールへ派遣
6 月 4 日(土)	ミツパ会総会 募金活動
6 月 25 日(土)	第 3 回定期 MTG 参加者 21 名 野球練習 (大阪城公園野球場)
6 月 26 日(日)	オリックスバファローズ観戦ツアー (スカイマークスタジアム)
7 月 30 日(土)	第 4 回定期 MTG 参加者 27 名 野球練習 (平野白鷺グラウンド)
8 月 20 日(土)	第 5 回定期 MTG 参加者 15 名
9 月 7 日(水)～13 日(水)	園田健弥 野球調査の為ネパールへ派遣
9 月 10 日(土)～11 日(日)	ネットワーク HITO と生駒合同研修 参加者 30 名 草野球チーム「ラリグラス」を結成
9 月 24 日(土)	第 6 回定期 MTG 参加者 25 名 野球練習 (大阪城公園野球場)
10 月 22 日(土)	第 7 回定期 MTG 参加者 15 名 練習試合開幕 (磯路グラウンド)
10 月 28 日(金)、29 日(土)	プール学院大学大学祭 ラジオ和歌山で活動を紹介 Laligurans オリジナル T シャツ 販売開始
11 月 10 日(木)	プール学院大学の「ボランティア活動論」の授業で活動紹介
11 月 26 日(土)	第 8 回定期 MTG 参加者 17 名 練習試合 (東中浜グラウンド)
11 月 27 日(日)	フリーマーケット (弁天町)
12 月 17 日(土)	第 9 回定期 MTG 参加者 23 名 練習試合 (北加賀屋球場)
12 月 28 日(水)～1 月 4 日(水)	桑名志麻 ポカラハウス物件調査の為ネパールへ派遣
1 月 28 日(土)	第 10 回定期 MTG 参加者 17 名 練習試合 (磯路グラウンド)
1 月 29 日(日)	アフリカ野球友の会総会に出席
2 月 18 日(土)	練習試合 (下福島グラウンド)
2 月 22 日(水)	案件ごとのグループで水曜の夜に集まり班 MTG 開始
2 月 24 日(金)	桃山台小学校でネパール文化紹介
2 月 25 日(土)	第 11 回定期 MTG 参加者 14 名 練習試合 (東中本グラウンド)
3 月 11 日(土)	練習試合 (舞洲グラウンド)
3 月 18 日(土)	2005 年度総会 参加者 19 名 練習試合 (松島球場)
3 月 21 日(祝)	ハシオカップ (万博グラウンド) 初公式戦 7-6 で惜敗 ネパール研修同窓会 (難波フェローズ) 参加 74 名 募金活動
3 月 23 日(木)～29 日(月)	ラリグラス ネパールツアー 参加者 14 名

プール学院大学 大学祭

2005 年 10 月に行われたプール学院大学の大学祭で、今年もネパールカレーを出展しました。プール学院大学に在学中のネパール人学生がカレーを作ってくれ、本格ネパールカレーを提供することができました。

当日は卒業生のラリグラスメンバーも駆け付け、準備や販売を手伝いました。

この大学祭から、ラリグラス T シャツ(P19 参照)の販売が始まりました。

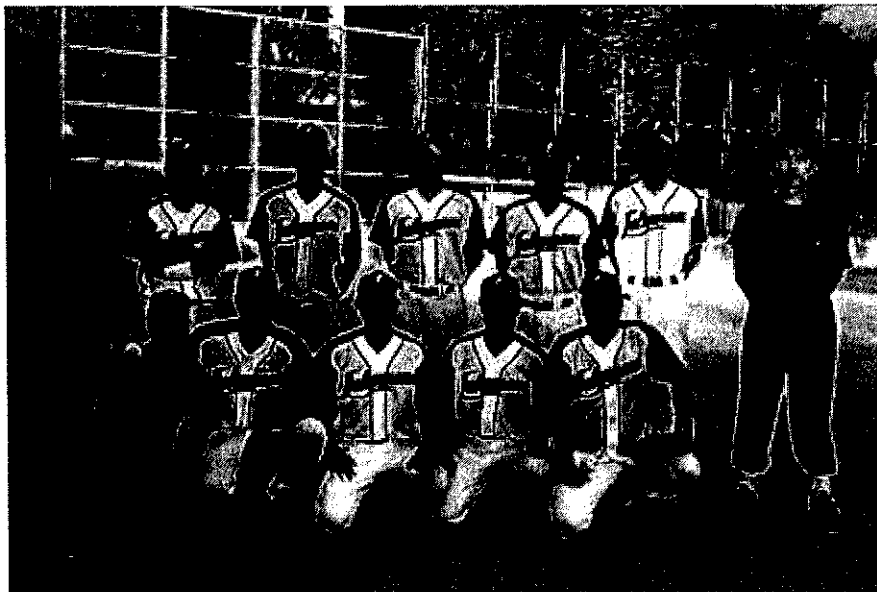
また、ラジオ和歌山の取材を受け、番組内でネパール・野球交流活動が紹介されました。

草野球チーム「ラリグラス」結成

2005 年 9 月に、草野球チーム「ラリグラス」を結成しました。

毎月、定期ミーティング前に練習や練習試合を行っています。2006 年 3 月には初の公式戦出場を果たしました。

ラリグラスメンバーも野球の楽しさを体感し、またネパールのベースボールプレーヤーに負けないよう技術の向上を目指しています。練習試合は、対戦相手の草野球チームに活動のことを知ってもらう良い機会にもなります。国籍・性別を問わず選手・マネージャーなど募集していますので、是非ご参加下さい。



ネパール研修 同窓会

2006年3月21日（春分の日）に、大阪府中央区の「なんばフェローズ」にて、「ネパール研修同窓会」を開催致しました。発起人も含め74名の方々にご参加頂きました。当日は、WBC日本優勝も重なり、野球を愛する「ラリグラスの会」のメンバーには最高の記念日となりました。

プログラム内容

司 会 赤松弘章 花倉雄宇也

スピーチ 元プール学院大学学長 小林哲也先生 （叙勲受章の花束贈呈）

プール学院大学 D. Musselwhite 先生

プール学院大学 植野雄司先生 （乾杯）

プール学院大学 松田浩志先生

ミヅパ会 大屋純子様

NGO 団体 ネットワーク HITO 代表 寺川克様

アスカトラベル&ツアーズ（株） 代表取締役 D.M. Hirachan 様

ラリグラスの会 代表 小林洋平

その他、出席者数人よりスピーチを頂きました。

※歓談中には、ネパール研修のビデオ（研修参加者が作成）を上映しました。

ご出席下さった皆様には、ラリグラスの会Tシャツをお持ち帰り頂きました。

開催にあたって

研修に参加された方々との久しぶりの再会を願い、またこの研修により生まれた「ラリグラスの会」の活動を知っていただく機会として、ネパール研修同窓会を企画しました。

プール学院大学のネパール研修をきっかけに、私たち「ラリグラスの会」が生まれました。プール学院が、ネパール研修が、ネパールの人々が生んだ出会い、その中には研修が無ければ決して交わることのない人たちもいたことでしょう。日本語クラスを通じて、また野球を通じて、あの子ども達との日々の中で芽生えた想いがこの活動を支えています。

※今年オープンを控える「ポカラハウス」（P17 参照）は、日本語学校、野球交流活動の拠点となる事務所兼、現地生徒と日本の情報交換、交流促進を目的とする施設であるため、日本語の研修に参加された方にも活動に関わって頂きたい大同窓会を企画開催しました。



会場の様子

総勢 74 名と予想を超える参加者で会場が埋めつくされていました。久しぶりに会われた方が多いようで、お話も弾んでいるようでした。出席して下さった先生方にごあいさつをされている姿、一緒に参加したネパール研修での思い出話やお互いの近況をお話している姿、また同じ時期に参加をしていない方同士の間にも交流が生まれている姿が見られました。

発起人の感想

この度のネパール研修参加者同窓会は、現在も毎月行われている「ラリグラスの会」の定例会の中で提案されてから約 1 年かけて実現いたしました。

研修に参加された方々が学校を卒業されて、早い方では 6 年も経ち、それぞれが社会に出て、近畿圏を離れておられる方、家庭を持たれている方も少なくない中、どれくらいの人数が集まるのだろうかと不安もありました。しかし当日は、遠く神奈川や香川から駆けつけてくださった方、また、夫婦や子連れ（胎内含む）でお越しくくださった方、他大学出身の方々など、総勢 74 名もの参加があり大盛況のまま終わることが出来ました。

多くは卒業以来の再会にも関わらずその長い年月を感じることなく、学年も世代も超えて楽しく熱く語り合えたのは、同じ目標、目的を持って 3 週間余りの期間を共に過ごし、それぞれがネパールという国に魅せられた同志達だからこそではないでしょうか。

このような仲間を得られたことはもちろん、いつでも思い出話に鮮やかな花が咲く程充実した時間を過ごせたことも、また研修に参加したことで価値観や生き方さえも変わるような経験が出来たことも、この研修ならではの改めて実感しました。そして、自分がその輪の中に居ることをとても誇らしく思いました。

最後になりましたが、お忙しい中ご出席くださった方々をはじめ、開催にあたりご尽力、ご協力下さった関係者の皆様に心から感謝致します。今回は初めての試みで、会場が狭かったり、二次会の場所が決まっていなかったりと、出席者の皆さまにご不便をおかけして申し訳ありませんでした。

今後この同窓会が毎年恒例行事となり、私たち皆の人生の一部となることを願いつつ、次回またお目にかかれる日を楽しみにしています。来年度は、ネパールにとどまらず、ミャンマーやフィリピンの研修に参加した方々もお誘いして、もっと大きな同窓会を企画しております。今回ご出席下さった方々はもちろん、残念ながら今回は欠席された皆様のご参加を心からお待ちしております。

当日は、たくさんの方にスピーチをして頂きました。一部ご紹介させていただきます。

参加者代表 橋本麻帆さん

この「ネパール同窓会」の案内を頂き、その文面の中に「来年 10 年目を迎える」という一文を読んだとき私の中で「もう 10 年」と「まだ 10 年」という両方の思いがよぎりました。それは、研修の思い出が鮮明に思い起こされるということ、ネパールの存在そのものがまだ日常の様々な場面でその経験が息づいているということだと思います。そんなすばらしい経験をさせて下さった先生方やスタッフに感謝します。

プール学院大学 元学長 小林哲也先生

はじめてネパールで研修をした年、研修の最後の週にネパールに入りカトマンズで学生諸君の出迎えを受けたときのことをよく覚えています。大学内では見たことのない生き活きとした、輝く笑顔を見せてくれましたね。そのとき、「やってよかった」と思いました。ここまで続けてくれて、大きくなって本当にうれしいです。

叙勲のお祝いに関しては思ってもいなかったことだったので感激しました。ありがとう。

※ 小林先生は平成 17 年秋の叙勲 瑞宝中綬章を受章されました。お祝いに花束を贈呈致しました。

ダイアン・マッセルホワイト先生

今日は一回目からの参加者のみなさんとお会い出来て本当に嬉しいです。ネパール研修の引率は、私自身が教師として成長するきっかけになった大きな存在です。ありがとう。

NGO 団体 ネットワーク HITO 代表 寺川克さん

同じネパールで活動をしている者として、若い人とこのようなかたちで交流できるのは嬉しいことです。最近の若い人もなかなかやるな、と思って見守っていました。若い力、すばらしい！

アスカトラベル&ツアーズ（株）代表取締役 D.M.ヒラチャンさん

ネパールのこども達のために、色々なかたちで交流をしてもらって、10 年間も続けてもらっていることに感謝しています。野球活動、交流活動は青少年の教育に非常に貢献していると思います。野球に関してはポカラから始まったということで、ポカラではかなり知られるようになってきましたが、ネパール全土に広げていくためにはやはりカトマンズにも拠点があった方がいいと思います。是非これからも続けていってほしいし、そのために ECODEC のメンバーもできる限りのサポートをさせていただきます。

※ ヒラチャンさんは、ネパールで活動に協力して下さっている NGO 団体「ESODEC」の代表をされています。

松田浩志先生

プール学院大学から始まったこの研修は色々な人たちの助けで今日まで続いてきました。毎回他大学の学生も参加し、皆で作りに上げてきました。

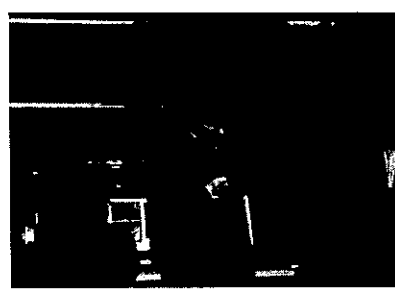
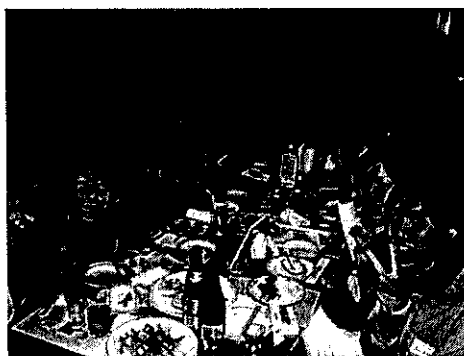
一つの目標に向かってこれだけの人間が集まって協力し合えるのだから、みんなきっと日本の社会も変えられる。こどもがこどもを傷付けたり殺し合ったりするそんな悲しい社会をみんなの力で変えていこう。

ミヅパ会 大屋純子さん

ネパールには様々なご縁があり、ネパールでこのような活動をされるということを知り、まるでそうそうに、「ふわっ」と灯りがともったような暖かい気持ちになりました。また小林君をはじめとする有志の卒業生がつくった会の名前が「ラリグラス」と聞いて、ご縁を感じずにはいられませんでした。卒業生の皆さんがこれほどまでに強い絆で結ばれ、ボランティア活動をされていることとても頼もしく思っています。お声をかけて下さってありがとうございます。これからも支援させていただきます。

スタッフ（プール学院職員） 桑名志麻さん

この場に集まった全員の皆さんの顔と名前がわかることが私の唯一の誇りです！アシスタントとして今よりも“若い”頃からこの研修に携わってきましたが、この研修のおかげで、皆さんのおかげで私も成長することができました。今の私があるのは皆さんのおかげです。みんなに感謝しています。ありがとうございます。みんな大好きです！



同窓会参加者

ネパール研修参加者（研修参加年月別）

1998年2月	國方 よし恵	柴谷 智子	鈴木 嘉子	高崎 紀子
	橋本 麻帆	平野 純子	藤原 あゆみ	増田 有希
	宮川 絢江	森 祐		
1999年2月	赤松 弘章	寺田 宗平	中村 浩枝	山本 淳子
	森川 直子			
1999年9月	川口 智恵	木村 亜里沙	葛原 香	竹口 利香
	谷口 奈美恵	西川 順子	宮田 春香	宮田 昌征
	矢吹 真弓	玉井 一実	花倉 雄宇也	
2000年9月	東 敬子	石井 愛子	岩切 梓	榎原 佐知子
	奥村 純子	國方 奈津子	佐藤 文香	三上 真里奈
	宮川 智香	李 由紀		
2001年2月	巖 一季	小西 雄希	佐原 啓太	藤岡 恭兵
2001年9月	鹿島 康平	小林 洋平	小林 律子	下方 麻由
	上甲 恵理子	高井 貢	畑 未央	星野 葉月
	山本 亜矢子			
2002年2月	三浦 昌広			
2002年9月	稲富 智佳子	河合 見名子	吉村 知容	
2003年9月	藤田 亜美恵			
2004年9月	大西 慶子	藤本 美嶺	森 美幸	八嶋 優実

プール学院大学及び短期大学卒業生

糸賀 恵理子 里山 智子 三井 まい子 三野 景子 Manu Hirachan

プール学院大学 教職員

植野 雄司 先生 関 綾子 先生 D. Musselwhite 先生
 松田 浩志 先生 桑名 志麻さん（職員）

ご協力者

大屋 純子 様 小林 哲也 様 惟任 将彦 様 寺川 克 様
 中谷 絢香 様 D.M. Hirachan 様

※ネパール研修複数回参加者は、初年度のみ記載しております。

※50音順、敬称略、既婚者の方は旧姓で表記しております。

同窓会に参加して頂いた皆様に、アンケート及びメッセージカードをご記入頂きました。
一部ご紹介致します。

まさか同窓会があるなんて思っていなかったもので、参加する前から楽しみにしていました。
私たちが参加したときには今の野球の活動は無かったので、話を聞けて良かったです。

(1998年2月参加者)

なかなか参加する事ができず残念ですが、このような機会を設けてもらえることで、少しではありますが、仲間の繋がりを意識できたと思います。

(2001年2月参加者)

活動の一区切りとして、それぞれの方々の貢献に敬意を表し、互いに励まし合い、絆を深めることが大切ですので、このように数年毎に同窓会というのは大事だと思います。これほど強い絆で深まったチームだと思いませんでした。

(ご協力者)

たった1回だけど、ネパールに行った事は社会人になってからも大きな支えとなっています。これからもたくさんの人がネパールで大切な事を学べるよう祈っています。

(1999年9月参加者)

年齢を重ねるにつれ、貴重な経験をしたなど、しみじみ思い返しています。今後もネパールでの活動が多くの人々にとって実りあるものであることを願っています。

(1998年2月参加者)

こんな大きな会とは思いませんでした。色んな方の熱い想いに触れて感動です。いい時間を過ごせました！皆さんサイコーです。ネパールと日本、世界の掛け橋になれるよう頑張ります！

(ご協力者)

ネパールに行った記憶がとても懐かしく感じました。最後の松田先生がスピーチして下さった言葉がとても心に響きました。自分がどこかへ行って何かを得るのではなく、自分で得るものを探して頑張らないといけないと思いました。

(2002年9月参加者)

ネパール研修に参加させていただき、多くの仲間ができました。ネパールでの思い出、ネパール研修での出会った仲間は私の宝物です。

(2000年9月参加者)

満月で光るヒマラヤと満天の星空はいつまでも目に焼きついています。これからもネパールで出会った仲間と一生のおつき合いをさせて頂ければと思っています。

(1998年2月参加者)

かかわる人々も、交流活動も、いつまでも「現在進行形」であるとよいですね。皆様の活躍を祈っています。

(教職員)

第一回 ラリグラス ネパールツアー

趣旨：ポカラハウス オープニングセレモニー

ポカラハウス：正式名称

(Pokhara House "Laligurans" : Center for Intercultural Exchange)

現地ポカラに野球事務所兼日本語学校を設立することになり、昨年末に物件が確定しました。その物件の視察と現地活動の現状を知るため、また、私たちの活動を現地の人たちにより知ってもらうため、今回のツアーを企画しました。

日程：A) 2006年3月23日(木)～27日(月)

カトマンズ2泊 ポカラ1泊 バンコク1泊

B) 2006年3月23日(木)～29日(水)

カトマンズ2泊 ポカラ2泊 バンコク1泊

参加人数：合計14名

A) 6名 小林洋平 三上真里奈 三浦昌広
岩切梓 榎原佐知子 辰巳恵美子

B) 8名 松田浩志 平野明彦 竹口利香 麻生奈美恵
和田早苗 加藤真知子 加藤規子 加藤倫子

今回ネパールへ持参した野球道具：

グローブ 132個 キャッチャーミット 3個 キャッチャー用ヘルメット 1個

グローブ用オイル 7缶 防腐剤 1個 ボール 22個



今回のツアーの企画、手配は、アスカトラベル&ツアーズ(株)様にご協力を頂きました。
ありがとうございました。

A グループの日程

	旅程	宿泊地
3月23日(木)	TG673 関西空港 01:25 発 バンコク 05:50 着 TG319 バンコク 10:30 発 カトマンズ 12:45 着 ● スポーツ省 (National Sports Council) で スポーツ協会会長とスタッフの方々と対談 ● 自由行動 やさしさ日本語学校の先生方と夕食	Nepa International 泊
3月24日(金)	BHA601 カトマンズ 09:05 発 ポカラ 09:35 着 ● 自由行動	Holiday 泊
3月25日(土)	● サランコットへ ● Holiday ホテルのテラスで 関係校の先生方、子供達と野球ミーティング ● ポカラハウス見学 ● 自由行動 子供たちとバルバドラで野球 BHA612 ポカラ 15:50 発 カトマンズ 16:20 着	Nepa International 泊
3月26日(日)	● 自由行動 TG320 カトマンズ 13:40 発 バンコク 18:10 着	Rama Garden 泊
3月27日(月)	● 水上マーケット TG626 バンコク 13:00 発 関西空港 20:30 着	

B グループの旅程

	旅程	宿泊地
3月23～24日	Aグループと同じ	
3月25日(土)	日中はAグループと同じ	Holiday 泊
3月26日(日)	● アマ・シンセカンダリースクールで 開校50周年記念パーティー 国王も出席 ● 自由行動 BHA612 ポカラ 15:50 発 カトマンズ 16:20 着	Nepa International 泊
3月27日(月)	● 自由行動 ● やさしさ日本語学校訪問 TG320 カトマンズ 13:40 発 バンコク 18:10 着	Narai Hotel 泊
3月28日(火)	● 自由行動 TG728 バンコク 23:00 発	機内泊
3月29日(水)	関西空港 06:25 着	

スポーツ協会 会長との面会

3月24日（金）カトマンズ スポーツ省にて
会長 Kishor Bahadur Suingh 氏と面会

お昼過ぎに、カトマンズにあるスポーツ省で、会長、職員、新聞記者を交えて会談の席が開かれた。まず、これまでのラリグラスの会の活動（プール学院大学ネパール研修の活動を含む）について説明した。

1. ポカラにあるセカンダリースクールに毎年野球を通じ交流を行ってきたこと。
2. 過去に3名の派遣者を送って指導を行ったこと。
3. ポカラ野球の現在の状況。
4. カトマンズ大学とポカラ野球の交流試合を行ったこと。

説明の後、会長はカトマンズから500キロ離れた所にある場所に現在スポーツ施設を建設中であると話し、時期が合えばベースボールスタジアム建設も可能であるという話をされた。会長・新聞記者は興味を持たれてネパール語ルールブック（園田健弥、滞在時作成）に目を通していった。皆、一様に話すことはもっと宣伝をしないといけないということだった。またカトマンズでの活動がネパールで野球を根付かせる足がかりになるだろうと話していた。最後に会長、新聞記者にルールブックを渡し会談を終えた。

会場にはTVカメラが入っていて、この模様はポカラにも放映された。子供達が昨日テレビに映っていたよと話してくれた。



今回の話を現実につなげる活動をこれから行っていかなければいけない。在ネパール日本大使にご協力を仰ぎ、日本の野球を紹介する活動を展開することも、ネパール全体に広める一つの手段かもしれない。また、対談中にラリグラスメンバーがネパール語を話した際、会長たちがとても好意を示してくれたことから、今ラリグラスの会で企画している「ネパール語講座」の重要性を感じた。

ポカラでのミーティング

3月25日(土) ポカラ ホテルホリデーにて

当初、ポカラハウスのオープニングセレモニーを予定していたが、ポカラハウスには、まだ電気や水も通っておらず、家具も無く、セレモニーをできる状態ではなかったため、ホテルホリデーでミーティングをすることに変更された。



出席者

ESODEC 関係者 : Birendra Hirachan(ホテルホリデーオーナー)

Pradeep Shrestha(ESODEC 副代表) Binod Raj Paudel(アスカトラベルカトマンズ社長)

セカンダリースクール関係者 : Bayan Bahadur Godar (アマ・シン校長) Mahesh Gurung(前アマ・シン校長) Shankar Gyawali(シリ・シッダ校長) Khada Nanda Sharma(シリ・シッダ体育教師) Ram Bahadur K.C.(バルバドラ校長) Narayan Bhandari(バルバドラ副校長) Padam Karki(バルバドラ体育教師) Khem Bahadur Gurung(ポカラ FIFA 代表)

ベースボールプレーヤー : Suman Tamrakar Nabin Pariyar Sushil Pariyar Shyam Ghale Yubraj Gurung Ishwar Thapa Chij Kumar Thapa Nabaraj Bhujel Buddhiram Gurung

ラリグラスメンバー : 松田浩志 小林洋平 三浦昌広 三上真里奈 岩切梓 榎原佐知子 竹口利香 (計 27 名、敬称略、順不同)

活動に初期から携わって下さっているヒラチャン氏がこれまでの経過を説明し、出席者に以下について提案されました。

- ・ポカラ発の野球であるという事を認識して国にアピールしていこうという事。
- ・コミッティーを作ってみんなで協力し合おうという事。

会議の最中に様々な意見が交わされたが、その内容は今までにラリグラスの会が直面した様々な問題だった。例えば道具の問題や、どのように学校に野球を伝えていくかなど。会議では、自然とこれまでの活動の総括的な流れができ、やっとネパールの人達が主導で進み出す可能性を感じることができた。

私たちラリグラスの会も、彼らポカラのコミッティーも成長するという気持ちでゆっくりあせらず進めていきたい。

ヒラチャン氏は最後に「当初から簡単にいくとは思っていなかった。ビスターライ(ゆっくり) ビスターライ(ゆっくり)」と話した。

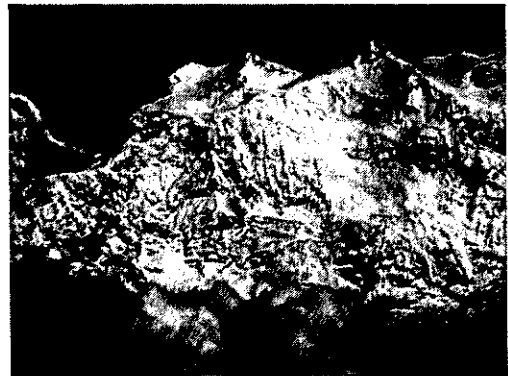
ただゆっくりではなく確実に進んでいく歩みを私たちは辿りたい。

ポカラを訪れて

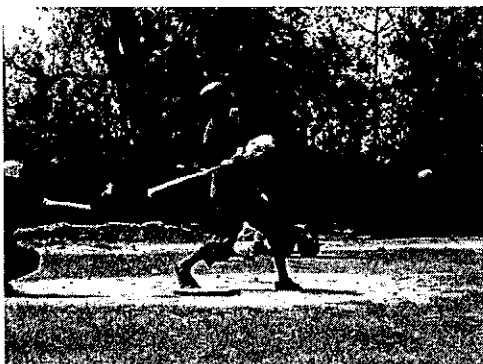
今回のネパール旅行は総勢 14 名で、その内ネパール初体験の参加者が 5 名。私自身は最初に訪れてから 8 年かかって、今回でようやく 3 度目のネパール旅行となった。しかし、ポカラへはまだ行ったことがなく、国内を飛行機で移動するのも初めてだったので、期待に胸を躍らせて参加した。

旅行直前にカトマンズで爆弾テロがあり、そのニュースは日本でも報道された。しかしネパール国内に入ると情勢不安定な様子など微塵も感じることはなかった。出発する前に色々な人に話を聞いたが、多くの在日ネパール人が口をそろえて「大丈夫ですよ」と言っていた。そして、その言葉をすぐ肌で感じる事ができた。

ポカラへのフライトは私の期待以上だった。離陸直後から、晴れ渡った空に雄大なヒマラヤがどこまでも続く景色が広がっていたのだ。同行していた松田教授も「何度も来ているがこんなに見えることはめったにない」と驚くほどだった。この短いフライトだけでも今回ネパールに来た価値は充分あると思えたほどだ。



ポカラ 2 日目にバルバドラセカンダリースクールで子どもたちと野球交流をするとの事だったのでそちらに向かった。何もない原っぱに子どもたちが集まっており、私たちが到着するとみんな人なつこい笑顔で迎えてくれた。多くの子どもたちが、今回のツアーに参加しているラリグラスメンバーと顔見知り、再会を互いに喜びあっていた。何年もかけて野球のプログラムが作り上げてきた絆だろう。



ヒマラヤの山々が見守る中、日本人もネパール人も、おとなも子どももが原っぱに集まり、野球が始まった。子どもたちの歓声が響き渡った。皆の笑顔、笑顔、笑顔。それを見て私の胸に浮かんできたのは「感謝」の気持ちだった。よくここまで活動を続けてくれたという感謝の気持ちである。子どもたちとの交流が目的で始まった野球交流活動だが、活動続けるにあたって

様々な、超えなければならないハードルがあったと聞いている。資金や物資ももちろん、例をあげればきりが無い。しかしラリグラスのメンバーはその困難に立ち向かい、あきらめることなく活動を続け、そしてその結果として今、この子どもたちの笑顔に会えたのだ。メンバー一人一人にご苦労様と心から言いたい。

この国は様々な問題を抱えている。しかし子どもたちはたくましい。どんな中であつても子どもは「遊び」を見つけ、楽しみを見出すことが出来るのだ。現在彼らが楽しみながらやっている野球という「遊び」が、将来もし生活の糧となり得たら、もし日本やアメリカでスタープレイヤーになれば・・・。子どもたちの夢はやがてこの国の希望へと発展するのではないだろうか。

素晴らしいプログラムに触れさせていただけた事を深く感謝したい。

澄んだ空に遠く霞む白い山壁、子供たちの歓声、笑顔、そしてゆったりと流れる時間。忘れることの出来ない旅行になった。

(平野 明彦)



ネパールの訪問が初めてだった参加者の方々にご感想を伺いました。

加藤真知子

雪を頂いたヒマラヤ 神々しいまでのご来迎と感動の連続でした。

“ネパールの子供達に野球を！”との熱き想いの日本の青年にも心打たれ、少しでもお役に立ちたいと思いました。

最高に楽しい旅に参加させて頂き、心より感謝しています。ありがとうございます。

加藤規子

ネパールへ着くと、たくさんの人が街に溢れていてとても賑やかなところだと感じました。ポカラでは、楽しそうに野球をしている子供たちにふれ、こちらも楽しかったです。

美しい山の姿も見ることができ、とてもすばらしい旅でした。

加藤倫子

なんと言ってもヒマラヤ、その美しさにとっても感動しました。牛が普通に歩いていた、YESは首を横に倒すなど、異文化に触れることができました。

とても貴重な体験ができ、本当に楽しい旅でした。また行きたいです！！

和田早苗

三浦君、野球練習へ行くあの道程を自転車で日に2、3往復はすごい。若さと情熱！とても印象に残りました。小林君、ポカラハウスが出来て練習場まですごく近くなったとはいえなかなか大変そうですね。住み着いてみればなんてことなくなるかな！

あの嬉しそうな子供たちの目、人なつっこさ、今私たちの周りでは見る事がなくなった美しさでしたね。どのように接すれば彼らに沁み込むような教え方が出来るのか、試行錯誤が楽しみですね。

毎日居ながらヒマラヤ山脈が見れる環境で働けるよろこびに感謝して！若さって素晴らしい！このときを大切に！

辰巳恵美子

ネパールは今まで行った海外の中で一番楽しかったです。行くまではもっと貧しい国なのかと思っていましたが、行ってみたら意外に街などがあり、あいさつをしたら返事が返ってきて、みんな優しい人たちでした。お世話になった人たちも優しく初対面の私も馴染むことができました。空港の人たちの働かなさにはびっくりしましたが（笑）

いきなりくる停電や、ポカラで見た朝日、無数の星、普通に道に牛がいる光景・・・いろんな衝撃があったけどこれからも忘れることは絶対にはないと思います。日本からかけ離れた地でいろんなものを見たり食べたり考えたりできたことが本当に良かったです。楽しめたけど、勉強にもなった旅行でした。

Tシャツ製作

月一回のミーティングで「どのようにして会員や寄付金を集めるか」という議題で話し合ったときに、「新たに会員になり会費を払って頂いた方や一定額の寄付をして頂いた方に、ラリグラスの会の一員となった印の様な物をさしあげよう。」ということから、Tシャツを製作することになりました。



一枚 1,000 円で販売しており、その一部がラリグラスの会への寄付となります。
色、デザインについて詳細をご希望の方はご連絡下さい。

ネパール語講座



2006 年 4 月 17 日から毎週月曜日にネパール語教室を始めました。私たちがネパールで野球を広めるにあたって、もし現地で活動する日本人メンバーがネパール語を話すことが出来るなら、現地での生活やコミュニケーションに大いに役立つでしょう。

今までネパールに行ったメンバーの多くは英語を話すか、現地に行ってからネパール語を体得していました。しかしそれでは野球の楽しさを伝えることよりも現地で実生活を送ることに多大なエネルギーを使ってしまう。そこで私たちは、今後の活動をより円滑に進めるためにも、現地ですぐに使える、生きたネパール語を学ぼうと、ネパール語教室を開催することにしました。

今回が初めてのプログラムですので、現在はラリグラスの会のメンバー 6 名ほどが学生となり、まだまだ手探りで授業を進めている状態です。しかし私たちは、このプログラムが将来的には、ネパール語の教科書・教材作成などといった様々な可能性を持っているのではないかと考えています。また、単にネパールの言語を学ぶだけではなく、ネパール人との交流にも繋がるこのプログラムを、今後も発展させ、より良いものを作り上げていきたいと考えています。

フリーマーケットIN大阪ドーム

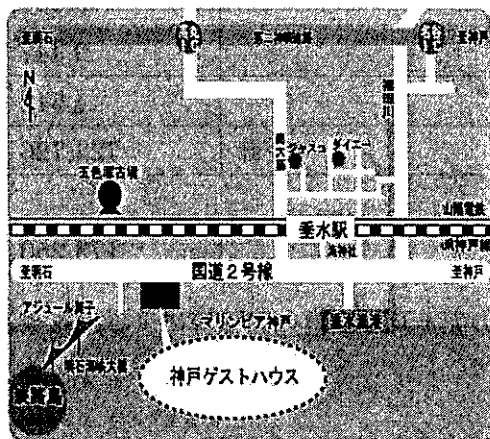
日時：2006年6月11日（日）10時～17時 入場料 500円

http://www.freemarket-go.com/0611fodm_1.htm

ネパールで野球「ラリグラスの会」も出展します。

ネパールに行った際に購入したものなど、家で眠っていませんか？ネパールで購入したものに限らず、家で使わなくなったものなどをフリーマーケットで販売し、売り上げをネパール野球の活動資金として寄付しています。オリジナルTシャツも販売します。お時間のある方は一度覗いてみてください。

販売品の提供や、フリーマーケット当日、販売などを手伝って下さる方を募集しています。私達と共に楽しみませんか？参加してみようと思われる方は前日までに090-3277-3145（代表 小林洋平）までお気軽にご連絡ください。



LALIGURANS親睦合宿

場所：神戸ゲストハウス

<http://www9.plala.or.jp/kobe-tarumi/>

日時：2006年7月8日（土）～9日（日）

料金：一人6,000円

目的：明石海峡大橋の奥に淡路島があり、また、その後ろを夕日が落ちていくというロマンティックな場所で行うメンバー交流会です。一緒に楽しく遊びませんか？花火や西瓜わりなども行う予定です。この活動に興味があるけど、知り合いがいないし勇気がなくて飛び込めないという方にもってこいの企画です。

一瞬の感動を肌で感じる為に、共に悩み、共に学び、共に笑い、一生懸命になれる場所がこの活動にはあります。楽しむ為にはどのようにしたらよいのか一緒に考えましょう。現在、私たちのグループは男女の比率も半々で18歳～60歳くらいの仲間が集い、皆楽しみながら活動をしています。平均年齢は20代後半です。

親睦合宿は、定期的に開催する予定なので、開催決定次第ホームページに掲載します。参加しようと思う方は080-6102-0028（幹事 巖一季）までお気軽にお電話ください。締め切りは6月15日（木）とさせていただきます。家族や友達、恋人同伴での参加もお待ちしております。さあ、暑い夏の始まりです！

会計報告

2005 年度（2005 年 4 月 1 日～2006 年 3 月 31 日）の活動に伴う収支報告は以下の通りです。

単位（円）

前年度繰越金	306,695
--------	---------

収入	会費及び会員より寄付	129,427
	協力者より寄付	320,320
	活動に関わる事業収入(注 1)	153,600
	合計	603,347

支出	活動費	497,287
	旅費交通費	190,420
	通信費	14,060
	会議費	9,000
	交際費	9,447
	雑費	4,512
	合計	724,726

次年度繰越金	173,250
--------	---------

(注 1)T シャツ等の売上及び会員の講演等による謝礼金等

会員及びご協力者を募集しております。

ラリグラスの会 会員

正 会 員 会費 6,000 円／年

協力会員 会費 3,000 円／一口

学生会員 会費 任意

※入会ご希望の方はご連絡下さるか、郵便振替にて会費をお振込み下さい。お振込みの際は、振替用紙に会員種類をご記入下さいますようお願い致します。

ポカラハウス運営、及び活動資金にご協力をお願い致します。

・郵便振替 番号 00940-6-316430

ネパール野球ラリグラスの会

※本年度より、寄付を頂いた方には領収書を発行致します。ご不要の際はご一報下さい。

ご協力ありがとうございました。

企業・団体

アスカトラベル&ツアーズ株式会社様 アスレチック BASEBALLCLUB 様
NPO 法人 アフリカ野球友の会様 和泉サークルズ様 和泉少年野球軟式協会様
いぶきのボールパークズ様 株式会社大阪バッファローズ様 沖上スポーツ様
株式会社オリックス野球クラブ様 幸ジュニアファイターズ様 小阪荘園子供会様
社団法人ネパール協会様 ゼット株式会社様 ナマステ通信様 南松ファイターズ様 ニ
プロ株式会社野球部様 NGO 団体 ネットワーク HITO 様
ネパール料理店 ラリグランス様 株式会社阪神タイガース様 UCC 上島珈琲株式会社様

個人

秋元アキ子様 芦原直美様 友成晋也様 A.J.ベセット様 有村一夫様 井上修一様
井上治子様 五十嵐よし子様 石川美幸様 伊藤照子様 岩井都蔵様 岩坂正雄様
岩崎力様 植野雄司様 請川公一様 氏本暁子様 内泉昌子様 内海章雄様
宇野喜句子様 L.D.マッセルホワイト様 太田垣洋子様 大屋純子様 岡本晃正様
小川ゆり子様 梶村義行様 勝知子様 加羽千代美様 亀井慶二様 荻野正美様
川崎好重様 川口陽子様 木川田一郎様 北山泰久様 木下典様 草竹和信様
黒田廣美様 小北真澄様 小嶋智弘様 小西康元様 小林哲也様 小林利春様 権瞳様
西道実様 坂本和博様 佐古田悦子様 柴田あぐに様 杉山克枝様 関綾子様
瀬戸口哲子様 高谷耕作様 竹原夕子様 竹淵久子様 多田圭吾様 田中絵美様
鶴野麻里子様 D.M.ヒラチャン様 寺川克様 中岡真澄様 中山弘一様 中村真由美様
中山雄次・昌子様 西尾宣明様 西川節行様 ニバ・ダンゴル様 西村嘉昭様
西村成雄様 西本匡克様 橋本真帆様 狭間美由紀様 橋本守・真理子様 萩原昭子様
朴聖雨様 林暁美様 広谷幸弘様 藤井久仁子様 藤倉寿美子様 船岡義弘様
古橋智代様 堀江ちずこ様 堀口初代様 本田明様 前村千栄様 松田真様 三島文子様
御手洗佐与子様 箕浦史郎様 宮川多美恵・絢江様 村上純子様 村瀬晴彦様
村瀬寿代様 室山皓之助様 森定玲子様 森下敏雄様 森美幸様 弥佐康志様
山崎美恵子様 山下たかえ様 山本利行様 山本みどり様 湯浅俊昭様 吉田等様
吉田義男様 米田歩様

その他

街頭募金にご協力いただいた方々 フリーマーケットにご協力いただいた皆様 プール学
院大学学内募金にご協力いただいた方々 プール学院大学教職員の方々 プール学院同窓
会の方々 ミヅパ会の方々

(50 音順)

今後の予定

	J A P A N	N E P A L
2006 年		
4 月	メンバー交流会 花見 (1 日) 新入生オリエンテーション (14 日) ネパール語講座開始 (毎週月曜日夜 8 時～) 定期 MTG&野球 (22 日)	ネパール新年 夏季までボカラハウス準備期間とする。 その間 ESODEC と連絡を取り、今後についてよく話し合う。
5 月	プール学院ミヅパ会同窓会 (20 日) 募金活動 定期 MTG&野球 (27 日)	日本語に興味のあるネパール人を募集する。 ボカラハウス運営の為のルールを決め、メンバー全員がしっかりと理解しておく。
6 月	フリーマーケット IN 大阪ドーム (11 日) 第 55 回ハシオカップ出場 草野球公式戦 定期 MTG&野球 (24 日)	家具や机などボカラハウスに必要なものを揃える。
7 月	メンバー交流会 合宿 (8, 9 日) HP リニューアルオープン (上旬) 定期 MTG&野球 (22 日)	ボカラハウスのスタッフとして働くシャムと連絡を取り続け、シャムのモチベーションが下がらないようにする。
8 月	高校野球観戦ツアー (開催期間中) 定期 MTG&野球 (26 日)	小林洋平をネパールに派遣する (8 月 5 日) 野球指導を行う。ブログを公開し活動報告をする。
9 月	メンバー交流会 秋の遠足 定期 MTG&野球 (23 日)	「8 月下旬～9 月中旬
10 月	プール学院大学大学祭に出展 定期 MTG&野球 (28 日)	プール学院大学ネパール研修※1 日本から野球道具を輸送する。
11 月	フリーマーケット IN 弁天町 (12 日) 定期 MTG&野球 (25 日)	日本語教員 2 名派遣 (常時 2 名) 生徒の紹介や生の声など HP を通して公開する。
12 月	NEW 報告書作成 定期 MTG&野球&忘年会 (23 日)	小林洋平帰国 (12 月中旬)
2007 年		日本と連絡をしっかりと取り合う。
1 月	新春もちつき大会 定期 MTG&野球 (27 日)	調査員を送る。
2 月	ワンワールドフェスティバルに出展 定期 MTG&野球 (24 日)	シャムを中心にボカラベースボールクラブを再結成し、カトマンズ大学と野球の交流試合を行う。また、野球が普及するにはどうしたらよいのか討論し、ナショナルチーム結成に向けて動く。
3 月	大同窓会 (21 日) 総会&野球 (24 日) 第 56 回ハシオカップ出場 草野球公式戦	

※活動状況やネパールの情勢により変更することがありますのでご了承下さい。

※1 プール学院大学の海外研修プログラムとして予定されております。他大学の方でも興味があれば参加できますが、学生に限ります。参加しようか迷っている方お気軽にご相談ください。

毎月第 4 土曜日に MTG を夜 19 時～難波市民学習センター (OCAT 4 階)、野球を大阪市内のグラウンドで行っています。詳細は HP でご確認ください。興味がありましたらお気軽にご参加ください。

NEPAL での活動予定

- ・ 野球というスポーツをネパール全土で認知してもらうために、ESODEC やスポーツ協会に今まで以上の協力を呼びかけ、ネパール国内での広報活動を大々的にしていく。ポスターなど貼る。
- ・ ポカラハウスを運営する。野球をしている子供たちや日本語に興味のあるネパールの人たちに日本語を伝える。ポカラハウスでも野球を紹介し、野球のビデオを見たり、ルール説明などを行ったりする。
- ・ ポカラハウスを開校するに当たり、日本人教師や野球の現地指導員を募集する。日本語教師や生徒などの人材、学校に必要な物など、必要なものを揃えていき、準備が整い次第開校する。
- ・ HP を通しポカラハウスの活動状況を随時日本のメンバー、ご協力者に報告していく。
- ・ ポカラハウスで日本語を学んだ生徒が日本へ留学し、日本でも野球を学ぶことの出来る環境にしていく。
- ・ ポカラハウスの庭にお花畑を作る。また、野球の練習ができるようにピッチャーマウンドも作る。建物の中も外も、楽しめるような生活環境にしていく。

JAPAN での活動予定

- ・ 活動メンバーやネパールに住んで活動を行う野球の現地指導員や日本語教師を募集する。継続的に指導員や教師を派遣する。野球道具も輸送する。
- ・ HP を新設する。ご協力者や応援して下さる皆様へリアルタイムで報告する。
- ・ ネパールのポカラハウスのメンバーやスタッフと連絡を取り合い、現地の問題を定期ミーティングで取り上げ、日本とネパールが一丸となって活動を進めていく。
- ・ ポカラハウスを運営していくことになり、今後年間 150 万円～200 万円の資金を集めなければならないため、少しでも資金面で運営が楽になるよう、出来るだけ多くの助成金の申請をしていく。
- ・ 他のボランティア団体の方々や当活動のご協力者の方々と意見交換を行い、色々なことを学びながら運営する。
- ・ 街頭募金やフリーマーケット、ボランティア団体が集まるイベントに出展し、活動を宣伝していく。また、テレビや新聞を通して広報活動を行う。
- ・ 活動メンバーのモチベーションが下がらないよう、月一回の「ラリグラスの会」全体の定期 MTG、週一回の班 MTG を継続的に行い、グループ全体の活性化を図る。
- ・ メンバーの役割分担を明確に決め、一人一人が動きやすく、より活動を好きになれるような環境を目指す。
- ・ 日本在住のネパール人やその他の留学生などに野球を紹介し、草野球を通して交流する。また、個々の野球の技術や知識を向上させる。ベースボールエキスパート（ベースボール検定、Yahoo 運営）2 級以上を目指す。
- ・ 2008 年に活動 10 周年記念として今までの活動内容をまとめた本を出版する。

2006 年度役員

会 長	小林 洋平		
副 会 長	佐原 啓太	三浦 昌広	三上 真里奈
書 記	岩切 梓	榎原 佐知子	
会 計	竹口 利香	巖 一季	惟任 将彦
広 報	赤松 弘章	花倉 雄宇也	平野 明彦
渉 外	鹿島 康平	高崎 紀子	藤田 亜美恵
企 画	藤岡 恭兵	河合 見名子	寺田 宗平
監 査	桑名 志麻		
顧 問	松田 浩志	寺川 克	
名誉理事	小林 哲也		

よろしくお願い致します。

ネパール派遣について

2006 年 8 月より 12 月まで約 5 ヶ月間、会長の小林洋平（25）のネパール派遣が決まっています。小林はポカラハウスに住み込んで野球指導員として活動をする予定です。



ナマステ！私は過去ネパールに 6 回行っていますが、ポカラハウスという新しい環境の中で活動することになります。これから始まる新しい舞台の 1 期生として派遣されるわけですが、正直どのような生活になるのか全く想像もつきません。これから起こる出来事と必死に向き合っていきたいですが、当面は現地の人びととのコミュニケーションを大切にしたいと思っています。ポカラハウスのスタッフとして一緒に活動を行うシャムやデビ、また野球をしている生徒からネパール語を学び、少しでも話ができるようになりたいです。私も彼らに日本語の手ほどきをするつもりです。この 5 ヶ月が活動の全てではありません。この活動は私にとって一生涯の活動であります。今後につながるよう、いろんなことを肌で感じ、体験してきます。

野球では私が引っ張って活動をするのではなく、シャムの後ろに立って応援するつもりです。個人的にも野球の技術向上を目指します。暖かく見守っていただけたら幸いです。

ご協力者の皆様がこれまで支援してくださったおかげで、現在のネパール野球があります。ポカラハウスを運営する所までできました。私もネパールに行かせていただくことが出来ます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。困難だらけの生活が待っていると思いますがとても楽しみです。2 年以上前からネパールに行くことを決めていたのでとうとうこの舞台にあがることができるという感覚です。ネパールに行くために仕事も辞めましたし、出発するまでの準備は整いました。8 月より H.P. を通して随時活動報告を行いますので、是非ご覧ください。また、機会がありましたら私の滞在中に、是非、ポカラにいらっしゃって、一緒に野球活動を体験してください。そして、美しいヒマラヤの高峰をお楽しみ下さい。

精一杯歓迎いたします。

皆様のご協力を頂きながら、ネパールに情熱をもった素晴らしいメンバーとともに、ラリグラスの会の活動を、より熱く、より面白いものに必ずいたします。今後ともご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

募集事項

ラリグラスの会ではメンバーを募集しています！！

- ①活動メンバー募集！！ 私たちの夢のお手伝いをしていただける方大募集です！
一瞬の感動を肌で感じるために、共に悩み、共に笑い、一生懸命になれる場所がこの活動にはあります。
- ②日本語教師募集！！ ポカラであなたの日本語を伝えませんか？？
常時2名派遣したいと考えております。
- ③野球指導者募集！！ ヒマラヤの青空の下で野球から笑顔の輪を広げませんか？
1名派遣したいと考えております。

※②、③共に語学力は問いません。やる気だけで充分です。派遣時期も相談に応じますので、ご興味がありましたらご一報下さい。

- ④スポンサー募集 ネパールの将来を応援してください！
さまざまな形で応援して下さる企業や団体、個人の方を募集しております。ご協力者があつての活動です！

※例：ポスターを店舗・会社等に貼って下さる方、リーフレットや募金箱を設置して下さる方、野球道具を提供して下さる方、など
今年度は広報活動を強化しようと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

- ⑤草野球対戦相手募集 毎月第4土曜日に練習試合をしています。楽しく野球できるチーム大歓迎です！お知り合いの草野球チームもご紹介下さい！
- ⑥メール会員募集 ラリグラスの会では、イベントやミーティングの情報をメールで発信しています。ご希望の方は、下記アドレスまでご連絡ください。

nepal89@hotmail.com

※パソコンからの発信になりますので、受信拒否をされている方は、ドメイン指定をお願い致します。(docomoの携帯は自動的に拒否される設定になっているようですので、特にご注意下さい。)



ネパールで野球「ラリグラスの会」

〒590-0114 大阪府堺市南区槇塚台 4-5-1
ブール学院大学 ミツパ会事務所内

HP : <http://www.nepalbaseball.net>

E-mail : nepal89@hotmail.com